



研究トピックス

都市における人口、商業、公共交通の研究

専門分野

都市地理学 経済地理学

川瀬 正樹 KAWASE Masaki

教員情報 <https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymdygygsggy>

研究概要

大都市郊外住民の通勤の男女差、住宅地の高齢化や交通問題、地方都市の商店街の現状と課題等について研究してきた。地理情報システム(GIS)を活用して人口や商業などを分析しているほか、広島平和学習へのGISの活用例を国内外の学会等で発表してきた。また、研究のため1年間、スウェーデンに派遣され、移民や環境に配慮した、北欧の持続可能なまちづくりの実践例を観察してきた。

研究シーズの応用

これまで、市史や町史の人口、都市、交通、商工業等の現代部分を執筆したほか、住宅団地を調査し、学生と住民とともに課題に取り組んだ実績がある。また、過去の空中写真(航空写真)と地図に関する講演や、地理情報システム(GIS)による商業分析の公開シンポジウムでの報告、GISによる初歩的な人口分析手法の地方自治体向けセミナーでの報告を行ってきた。さらには、GISを平和教育に活用する学会イベントに、毎夏、主催者の代表者として参加している。まちづくりや都市・人口問題のほか、地図やGISの分野でも地域社会に寄与できると考えている。

キーワード

都市 GIS 北欧



研究トピックス

アレルギー28品目を取り除いた食品の販路開拓に着手

専門分野

マーケティング マーケティング・リサーチ ブランド戦略 地域商業論
中小商業論 商店街概論 新商品開発

川原 直毅 KAWAHARA Naoki

教員情報 <https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=yinkegygoggy>

研究概要

マーケティング・リサーチの領域は幅が広く、単なる市場調査から企業のマーケティング活動の調査まで至る。なかでも新商品開発やブランディング、販路開拓は特に中小企業・小規模事業者に於いては経営の隘路となる。小職はこれまで経産省・中国経済産業局の中小企業経営支援課、商業・流通課の補助金採択委員長の任にあった。現在は、Japan ブランド認定補助事業の委員として採択を行う他、女性起業家ソエル受賞者の販路開拓を後方支援している。また、商店街活性化について現在、広島本通商店街3丁目地区再開発事業に従事している。

研究シーズの応用

地域活性化の方策、商業・工業経営のコンサルティング、SDGs を念頭に置いたモノづくり 地域資源を活用した新商品開発と販路開拓

キーワード

商業活性化 新商品開発と販路開拓 人材教育



研究トピックス

オープン・イノベーションで組織を革新する

専門分野

イノベーション論

中園 宏幸 NAKAZONO Hiroyuki

教員情報 <https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=yymbmggygiggy>

研究概要

これまでの研究は3つに分けることができます。

はじめに、既存の企業によるオープン・イノベーションの研究です。オープン・イノベーション研究のなかでも、企業と企業の関係ではなく、企業内の取り組みに着目をしていました。すなわち、企業の外部にある技術やイノベーションを導入する際に企業内部の組織間関係で生じる衝突とその解決策について研究を進めています。

つぎに、オープン・イノベーションのもうひとつの主役であるスタートアップが成長する際にベンチャー・キャピタルとどのように連携しているのかを明らかにする研究に取り組んでいます。特に日本の経営戦略やイノベーションの研究では、ベンチャー・キャピタルがどのようにスタートアップや既存企業と関係しているかが十分に明らかにされていません。スタートアップが成長するための支援産業の一つとして欠かせないベンチャー・キャピタルのあり方について研究を進めております。

さいごに、組織のデジタル・トランスフォーメーションの研究です。近年デジタル技術の重要性が深く理解されつつありますが、経営戦略と組織のあり方との適合性が十分に検討されていません。この点について、テレワークをひとつのケースとして研究を進めております。製品やサービスのソフトウェア化が進むなかで、単にデジタル技術の導入するのではなく経営としてデジタル化を戦略や組織と関係させながら改革していくためにはどうすればよいのかについて研究を進めております。

研究シーズの応用

質実剛健な企業の多い中四国では、イノベーションやスタートアップ、デジタル・トランスフォーメーションは縁遠いものだと考えているふしがあるような気がします。しかしながら、そのようなことはありません。これまでの強みを最大限活かすためにも新たな取組を進めてみることに意義があるでしょう。

キーワード

イノベーション スタートアップ デジタル・トランスフォーメーション



研究トピックス

公正かつ効率的な食品流通のあり方の追求

専門分野

食料流通学 農業市場論 農業経済学

矢野 泉 YANO Izumi

教員情報 <https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymidgeyeggy>

研究概要

農業経済学の中の農業市場学という分野で、農産物・食品の流通問題に関わる研究を行っています。生産者が農産物や食品を持続的に供給できる仕組み、またそれら生産物を量的、経済的、社会的に消費者に安定供給するための社会構造や政策を研究しています。

これまでの主な研究テーマとして、まず東南アジアにおける日本産農産物の市場動向と日本農業、東南アジア及び東アジアの食生活、東南アジアにおける学校給食普及等アジアの農業・食料に関わる問題解決に現地調査をふまえ、現地の研究者とともに取り組んでいます。日本国内においては、卸売市場やスーパーマーケット、専門小売業者等流通関係者からの聞き取り調査や統計分析、政策分析を基に、取引上あるいは政策上の現状分析と問題抽出を行い、農業市場学的な理論的議論や、問題解決のための具体的議論を行います。

研究シーズの応用

- ・卸売市場の整備や経営展望作成等の相談、助言
- ・食料消費動向等消費者アンケート調査の分析
- ・商業の活性化支援
- ・農漁村地域の活性化支援

キーワード

農産物・食品流通 卸売市場 東南アジア



研究トピックス

広義の地域産業振興

専門分野

地域産業政策論

太田 耕史郎 OTA Koshiro

教員情報 <https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymikgyysggy>

研究概要

地域産業振興のための方策（地域産業政策）を教育、暮らし、事業文化を含めて、また主に米国中西部の諸都市を参考事例として研究している。研究成果の一部は『地域産業政策論』、『ラストベルト都市の産業と産業政策』（何れも勁草書房）として発表している。

研究シーズの応用

地域の持続的発展には生活の基盤となる就業機会の創出、そして地域の状況に応じた地域産業政策が不可欠となる。その地域産業政策を研究課題としている。

キーワード

産業 街づくり 創造的事業文化



研究トピックス

生命の起源研究と熱水を利用する環境技術開発

専門分野

化学 生命科学 環境科学

川村 邦男 KAWAMURA Kunio

教員情報 <https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymiygyyigy>

研究概要

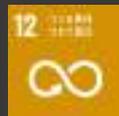
生命の起源を研究しています。このために世界に例のない熱水フローリアクターを開発しました。この手法は基礎研究だけでなく、環境改善技術シーズとして、応用展開が期待されています。私達の開発した熱水フローリアクターは、最高温度 400°C、圧力 1000 気圧で、0.002~200 秒までの短時間の反応を追跡できます。また、分光システムと結合して、様々な物質の反応過程を紫外・可視・近赤外領域で in situ 観測できます。また、鉱物や固体触媒を用いる反応にも適用できる装置も開発しました。すでに、固体触媒の開発ツールとして、また、繊維製品の熱水処理技術をこれらをベースに開発し、実用化をめざしています。

研究シーズの応用

固体触媒は化学プロセスの効率を改善する魔法の薬として、開発が進められてきました。しかし、これらの作用をその場観測することは難しかったです。私達の手法を用いれば、固体触媒の開発効率を劇的にアップできると期待されています。また、中規模サイズの熱水フローリアクターを用いて木綿廃棄物からフルフラールなどの有用成分を連続的に生成するシステムも開発しました。これらの実用化をめざすとともに、その他の展開も共同研究によって期待されます。

キーワード

環境技術 化学プロセス 自然科学のアウトリーチ



研究トピックス

地球温暖化防止のための炭素税やエネルギー政策などを研究

専門分野

環境経済学 環境政策論 持続可能な発展論

羅 星仁 NA Sungin

教員情報 <https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymimgigygyy>

研究概要

再生可能なエネルギー普及のための国際的な研究を行った。再生可能なエネルギー導入による経済・環境への影響を計量的に分析し、その効果を明らかにした。現在は、再生可能なエネルギー普及のための東アジアにおける国際協力の推進および、原子力発電の可能性や安全性などをめぐる国際協力に関する研究を行っている。

研究シーズの応用

気候変動防止のための様々な政策がこれから導入されると思います。その中でも再生可能なエネルギーをめぐる政策や低炭素社会を実現するためのカーボンプライシングなどの議論で見れるように企業の負担増を伴う政策の導入が見込まれます。そのような政策への企業の対応などに協力できるところがあると思います。

キーワード

地球温暖化 再生可能なエネルギー 持続可能な発展



研究トピックス

高齢者の栄養管理と食形態の調整や調理の工夫

専門分野

臨床栄養学 給食経営管理

栢下 淳子 Kayashita Atsuko

教員情報 <https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymidygymggy>

研究概要

疾病者に対する栄養管理

嚥下障害者に対する食形態の調整や調理の工夫

高齢者のフレイル，サルコペニア予防の提案

研究シーズの応用

嚥下調整食市販食品の評価を実施し，よりおいしく安全なものを提案

キーワード

嚥下調整食 低栄養 嚥下障害



研究トピックス

食で地域を活性化

専門分野

調理学 栄養学

木本 晶子 KIMOTO Akiko

教員情報 <https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymbdgdggeggy>

研究概要

アルコールの多量摂取の有害性は、今や一般常識といっても過言ではない。それにともないアルコールの多量摂取については多くの研究がなされている。一方、近年の疫学的調査では、適量のアルコール摂取が心臓病、糖尿病、がん、脳疾患などに対して予防的に働くことが示唆されアルコールのJカーブ効果として提唱されている。しかしながら、適量アルコール摂取についての実験的研究は極めて少ないのが現状である。私たちの研究では、高脂肪食摂取ラットに1%または2%のアルコール飲料を摂取させると1%アルコール摂取により肝機能の改善がみられ、2%アルコール摂取ではその効果が減弱していることを証明している。動物実験におけるJカーブ効果の実証はこの研究が最初である。それを皮切りにこれまで、老化促進モデルマウス・肥満糖尿病モデルマウス・乳がんモデルラット・大腸がんモデルラットに対する、適量アルコール摂取の効果を明らかにしてきた。

研究シーズの応用

お酒としてのアルコールだけでなく、発酵食品に含まれる少量のアルコールについても幅広い視野を持って研究を行っている。アルコールは飲みすぎによる悪影響が取り上げられがちであるが、適量がどれくらいであるかを知り、食文化を豊かにし、しかも健康にも良い影響があるかも知れないということを知ってもらおうきっかけになりたい。

キーワード

広島 食文化 アルコール 発酵食品



研究トピックス

官能評価と機器分析の併用による食品
のおいしさの数値化

専門分野

食品学 官能評価

黒飛 知香 KUROTOBI Tomoka

教員情報 <https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymbgggbgkgy>

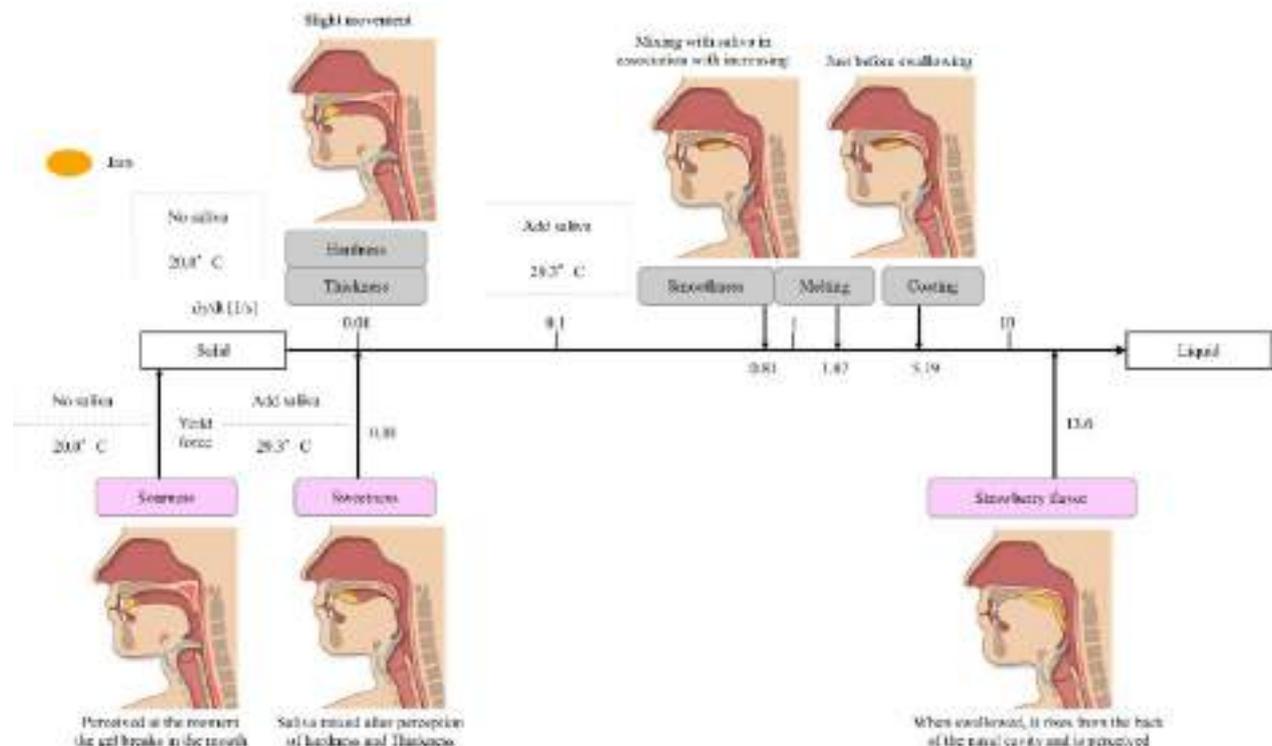
研究概要

食品の風味、テクスチャーなど「おいしさ」に寄与する要因の解明、知覚機序などについて研究を行っています。

- ・イチゴジャムの配合による品質（テクスチャーやフレーバーリリース）への影響について^{1,2)}

官能評価と Short Back Extrusion method（以下、SBE 法）*も導入し、種々の機器分析を併用して官能評価に対応する力学的特性の解明を行った。その結果、官能評価値は SBE 法から得られる見かけ粘度と相関が高く、テクスチャー・風味特性ごとに口腔内条件が異なることが明らかとなり、見かけ粘度に対応した“ずり速度（ジャムの変形速度）”を舌の動きと想定し、それぞれのテクスチャー・風味を感じる際の口腔内の状態（唾液の有無、温度）および知覚順序を推測している。

* SBE 法：高粘度のテクスチャー評価に有用な新しい物性測定法。



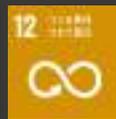
- 1) Relationship between sensory analysis for texture and instrument measurements in model strawberry jam., 共著 (FA), J Texture Stud. 49, p.359-369. (2018)
- 2) Influence of physical properties on the taste and flavor of strawberry jam., 共著 (FA), J Texture Stud. 52 (2), p.260-274. (2021)

研究シーズの応用

私たちが何気なく食べている食品ですが、管理栄養士や食品企業などにとって食品の風味やテクスチャーの客観化はとても重要なことです。これらの客観化の手段として、人の感覚（官能評価）および機器分析を併用して人の知覚に対応する指標（力学的特性）の把握を行っています。得られた成果は、商品開発や配合検討などへ活用することも可能と考えています。ジャムをはじめとしたゲル状食品の他、様々な食品に応用・展開できます。

キーワード

食べ物のおいしさ 官能評価 風味 テクスチャー 人の知覚機序



研究トピックス

各個人の幸福感を高められる、市民参画 による持続可能なまちづくり

専門分野

都市計画 都市戦略 環境システム

三浦 浩之 MIURA Hiroyuki

教員情報 <https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymigsgsggy>

研究概要

地方版総合戦略、長期総合計画、都市計画マスタープラン、立地適正化計画、景観計画、環境基本計画、循環型社会形成推進地域計画、廃棄物減量等推進計画、住生活基本計画、社会資本総合整備計画、下水道整備計画等の策定に関連する研究に取り組むとともに、各自治体において、これらの策定にも関与しています。とくに、EBPM (Evidence Based Policy Making) と市民関与による政策・計画の立案、オープンガバナンス、そして、これらに寄与するオープンデータに着目しています。

研究シーズの応用

政策・計画の立案における EBPM アプローチと、立案における市民関与の手法およびオープンガバナンス、そしてこれらに寄与するオープンデータについて、応用できるシーズを有しています。

キーワード

EBPM 市民関与 オープンガバナンス オープンデータ 協働